

USB タッチリーダー  
*Touch 7-USB*

**ユーザーズマニュアル**

## 商標について

Microsoft、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。  
Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。  
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

# 正しく安全に お使い頂くために

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。



## 危険

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い」内容です。



## 警告

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示はしてはいけない「禁止」であることを示します。図の中に具体的な禁止の内容が示されています。



このような絵表示は必ずしていただく「強制」であることを示します。図の中に具体的な指示の内容が示されています。



このような絵表示は注意を促す内容であることを示します。図の中に具体的な注意の内容が示されています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。



## 警告

### 分解、改造をしないでください



けがや感電、火災などの事故または故障の原因となります。内部の点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。

### 引火、爆発の恐れがある場所では使用しないでください



引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

### 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください



電子機器（医療用電子機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など）が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

### 異物を機器の内部に入れないでください



もし機器の内部に異物や液体が入った場合は、接続ケーブルを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電、火災などの事故または故障の原因となります。

### 製品が異常な状態のまま使用しないでください



製品から煙が出る、異臭がするなどの異常が発生した場合は、接続ケーブルを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電、火災などの事故または故障の原因となります。

### 薬品に近づけないでください



薬品が触れる場所や薬品のそばで使用、保管しないでください。感電、火災などの事故または故障の原因となります。

## 注意

### 高温となる場所、湿気・ほこりの多い場所で使用・保管しないでください

直射日光が当たるところ、高温になるところでの使用や保管は避けてください。火災などの事故またはケースの変形や故障の原因となります。

湿気、ほこりの多いところでの使用や保管は避けてください。感電、火災などの事故または故障の原因となります。

### 濡らさないでください

雨やシャワーなどの水がかかるところで使用しないでください。濡れた手でケーブルの抜き差しを行わないでください。

内部に水分が入り感電、火災などの事故または故障の原因となります。

### ケーブルに重い物を載せたり、引っ張ったりしないでください

ケーブルの被覆が破れたり断線が発生して、感電、火災などの事故または故障の原因となります。

### 強い衝撃を与えないでください

機器を落とす、投げる、叩くなどしないでください。機器の故障の原因となります。

### 不安定な場所でのご使用や保管は避けてください

機器が落ちたりして、けがや機器の故障の原因となります。

### 乳幼児の手の届くところに置かないでください

けがなどの原因となります。

### RF/ID のアンテナ等の近傍では、誤作動する恐れがありますので使用を避けてください

## 製品保証について

---

1. 製品の無償保証期間は弊社出荷日より1年となります。ただし、無償保証期間内でも、次のような場合は有償となることがありますのでご了承ください。  
なお、本製品に保証書の添付はございません。
  - ・ シリアル番号の無いものおよび確認できないもの（出荷日の管理が不可能なため）
  - ・ マニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反する取り扱いによる障害
  - ・ 故意または重大な過失による障害
  - ・ 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
  - ・ 許可無く、改造または他機器の接続、取付けを行なったことによる障害
  - ・ 災害、地震、水害等の天災地変による障害
  - ・ お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
  - ・ 使用上避けられない消耗による障害・部品交換（消耗品交換）
2. 製品の内容は、改良やバージョンアップなどにより、予告なく変更することがあります。
3. 本製品の運用の結果生じた損失については、全てに關しての責任を負いかねますので、ご了承ください。
4. お買上頂きました製品をご利用頂くにあたり、下記の登録ページへのリンクよりユーザ登録をして頂くことをお奨めします。ユーザ登録は、弊社が製品の保証をするために必要なものですので、ぜひ登録をお願い致します。またご登録頂くことで、商品・サービスに關連した情報等をご提供させていただきます。

<http://www.welcat.co.jp/support/regist/index.htm>

登録には製品のシリアル番号が必要になりますので、予めご確認ください。

## 表記上の注意

---



参照事項を表わします。



注意事項を表わします。

# 目次

---

製品保証について .....	v
表記上の注意 .....	vi
目次 .....	vii
<b>第 1 章 お使いになる前に .....</b>	<b>1-1</b>
1-1 梱包箱の確認 .....	1-2
1-2 各部の名称と役割 .....	1-3
<b>第 2 章 動かしましょう.....</b>	<b>2-1</b>
2-1 接続 .....	2-2
2-2 基本動作 .....	2-6
<b>第 3 章 各種条件の設定 .....</b>	<b>3-1</b>
3-1 設定項目および初期設定 .....	3-2
3-1-1 読取りコードと初期設定 .....	3-2
3-1-2 読取り設定 .....	3-3
3-1-3 データ出力設定 .....	3-3
3-2 設定の詳細 .....	3-4
3-2-1 設定の初期化 .....	3-6
3-2-2 読取りコード .....	3-7
3-2-2-1 読取りコードの設定 .....	3-7
3-2-2-2 桁数転送の設定 .....	3-10
3-2-2-3 C/D (チェックデジット) 計算の設定 .....	3-12
3-2-2-4 C/D (チェックデジット) 転送の設定 .....	3-13
3-2-2-5 スタート/ストップキャラクタ転送の設定 .....	3-15
3-2-2-6 コード別プリフィックスの付加の設定 .....	3-16
3-2-2-7 コード別サフィックスの付加の設定 .....	3-19
3-2-3 読取り設定 .....	3-22
3-2-3-1 読取り桁数の設定 .....	3-22
3-2-3-2 読取り方式の設定 .....	3-24
3-2-3-3 トリガスイッチの設定 .....	3-25
3-2-3-4 トリガスイッチ機能の設定 .....	3-26
3-2-3-5 読取り時間の設定 .....	3-27
3-2-3-6 2 度読み防止タイマー時間の設定 .....	3-29

## 第 1 章 お使いになる前に

3-2-3-7 多段読みの設定 .....	3-31
3-2-3-8 ブザー音量の設定.....	3-33
3-2-2-9 ブザー音の設定 .....	3-34
3-2-4 データ出力設定 .....	3-35
3-2-4-1 出力後の付加データ設定.....	3-35
3-2-4-2 コモンプリフィックス付加の設定.....	3-37
3-2-4-3 コモンサフィックス付加の設定.....	3-38
3-2-4-4 送信速度の設定 .....	3-40
3-3 プリフィックス/サフィックス付加データ表.....	3-41

## 第 4 章 仕様 .....

---

4-1 外形寸法.....	4-2
4-1-1 本体.....	4-2
4-2 読取り性能.....	4-3
4-2-1 非接触距離 .....	4-3
4-2-2 ピッチ角度.....	4-3
4-2-3 スキュー角度 .....	4-4
4-2-4 チルト角度 .....	4-4
4-2-5 湾曲.....	4-5
4-3 光学仕様.....	4-6
4-4 その他仕様 .....	4-6

## 第 5 章 付録 .....

---

付録 1 サンプルバーコード .....	5-2
付録 2 定期刊行物コード（雑誌）に関する設定.....	5-4
付録 2-1 定期刊行物コードの読取り設定.....	5-4
付録 2-2 定期刊行物コードの C/D（チェックデジット）転送設定 .....	5-5
付録 2-3 定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックス付加の設定.....	5-5

## 第 6 章 索引 .....

---

## 第1章 お使いになる前に

---

### 1-1 梱包箱の確認

---

梱包箱の中には本体をはじめとして次の添付品が同梱されています。お使いになる前に必ず本体および添付品をご確認ください。

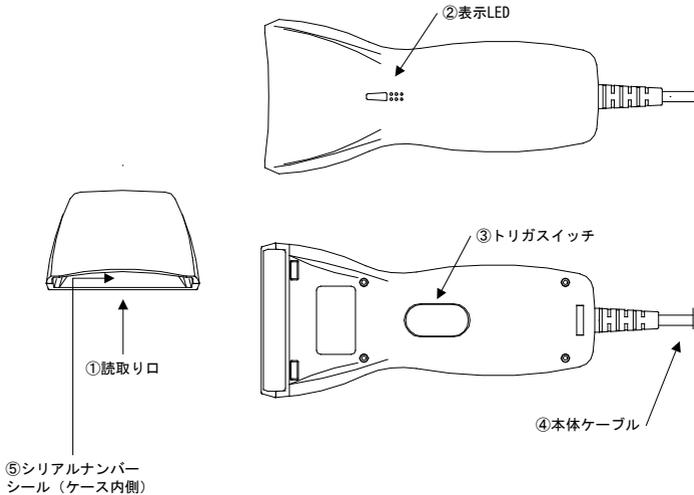
- 本体（型番：Touch7-USB）
- ユーザーズマニュアル（本書）

梱包品に不備がありましたら、ご購入販売店もしくは弊社営業部までお問い合わせください。

## 1-2 各部の名称と役割

---

### ●本体



① 読取り口

バーコードを読み込むための読取り口です。

② 表示 LED

バーコードを読んだときなどに点灯します。

③ トリガスイッチ

読取りを行う時に押します。

④ 本体ケーブル

パソコン本体の USB コネクタに接続します。

⑤ シリアルナンバーシール

製品管理番号です。

製品についてのお問い合わせ時に、このシリアルナンバーをお知らせください。

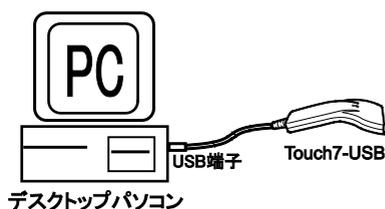


## 第2章 動かしましょう

---

## 2-1 接続

本体ケーブルの USB 端子をパソコンの USB ポートに挿してください。  
USB ポートに確実に接続されていることを確認後、パソコンの電源を入れてください。新しいハードウェアを検出後、ドライバのインストールが終了したら接続完了です。



対応 OS
Microsoft Windows 98
Microsoft Windows ME
Microsoft Windows 2000
Microsoft Windows XP

Windows 2000と Windows Me において Touch7-USB を使用する際に、以下の注意点があります。

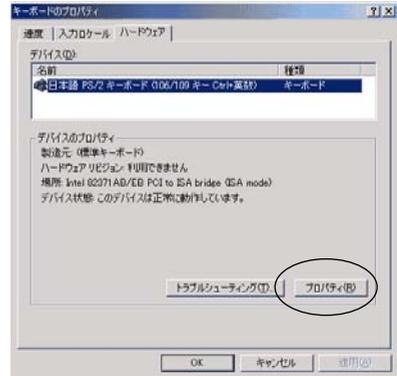
### ●Windows 2000 に関する注意事項と対処法

Windows 2000 ServicePack1 (以下 SP1) において Touch7-USB を使用する際、初回接続の後再起動すると、キーボードが106鍵盤の設定でも101鍵盤のキー配置となり、特殊記号についてのバーコードデータ、キー入力に化けが発生します。これは USB キーボードデバイスを接続した場合の Windows 2000 SP1 の仕様で、以下の手順により回避できます。なお、この設定は初回には必ず必要ですが、それ以降は不要です。

※本設定は、Windows 2000 SP2から不要になりました。

① 「コントロールパネル」の「キーボード」をクリックします。

② 「ハードウェア」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

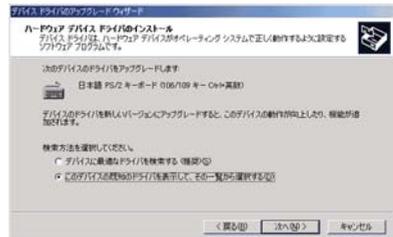


③ 「ドライバ」を選択し、「ドライバの更新」をクリックします。



④ デバイスドライバのアップグレード ウィザードが開きます。「次へ」をクリックします。

⑤ 右の画面が表示されます。「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する。」をチェックし、「次へ」をクリックします。



## 第2章 動かしましょう

- ⑥ 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を選択します。その後、製造元を「(標準キーボード)」、モデルを「日本語 PS/2キーボード (106/109キーCtrl+英数)」を選択し、「次へ」をクリックします。



- ⑦ ドライバの更新警告が表示されます。ここで「はい」をクリックします。この後、コンピュータを再起動します。

### ●Windows Me に関する注意事項と対処法

初回のみ接続中に一度コントロールパネルを開く必要があります。なお、それ以降は不要です。

## ●接続機種に関する注意事項と対処法

Touch7-USB を IBM 製デスクトップ PC「NetVista シリーズ」で使用する場合、Touch7-USB の接続が認識されなくなる、またはキーボードの入力ができなくなる等の現象が発生することがあります。その場合、NetVista について以下の設定を行う必要があります。

- ① PC の電源を入れた後、IBM ロゴを表示中に F1 キーを押すと「装置構成ユーティリティ」 (BIOS メニュー) が起動します。なお、この設定は Touch7-USB を接続しないで行ってください。
- ② 矢印キーで選択、Enter キーで確定しながら「デバイスと I/O ポート」→「USB の設定」→「USB キーボード/マウス」とメニューを進めます。
- ③ 「自動検出」を「しない」に変更します (デフォルトは「自動検出」となっています)。
- ④ ESC キーを3回押して最初のメニューに戻ったあと設定を保存します。
- ⑤ 設定保存後、自動的に Windows が起動しますので、起動完了後 Touch7-USB を接続してください。

## 2-2 基本動作

---

接続が完了したら、実際にバーコードを読んでみましょう。

- ① 「メモ帳」等のアプリケーションソフトを起動し、文字入力状態にします。
- ② Touch7-USB のトリガスイッチを押して読取り口が赤く点灯したら、バーコードにあてて読取ります（巻末のサンプルバーコードをお使いください）。
- ③ 読んだバーコードのデータが画面上に表示されれば基本動作の確認は終了です。

**注意**

キーボードのキーを押しながらの操作は止めてください。  
正しく動作しません。また、データが出力されない場合はパソコンの電源を入れなおしてください。

## 第3章 各種条件の設定

---

## 3-1 設定項目および初期設定

Touch7-USB では「読取りコード」、「読取り設定」、「データ出力設定」の分類で設定ができます。

設定項目および初期設定は表をご覧ください。

### 3-1-1 読取りコードと初期設定

表 3-1

コード	読取	桁数 転送	C/D 計算	C/D 転送	スタート/ ストップ転送	プリフィックス 付加	サフィックス 付加
UPC-A	○	×	○*1	○	—	無し	無し
UPC-E	○	×	○*1	×	—	無し	無し
JAN/EAN-13	○	×	○*1	○	—	無し	無し
JAN/EAN-8	○	×	○*1	○	—	無し	無し
CODE-39	○*3	×	×	○*2	○	無し	無し
NW-7	○*3	×	—	—	abcd/abcd	無し	無し
インター リブド2of5	○*4	×	×	○*2	—	無し	無し
インダストリ アル2of5	○*4	×	×	○*2	—	無し	無し
CODE-93	×	×	○*1	○*1	—	無し	無し
CODE-128	×	×	○*1	○*1	—	無し	無し
定期刊行物コ ード(雑誌) (JAN-13アド オンコード付)	×	—	○*1	○	—	無し	無し

定期刊行物コード(雑誌)については第5章の付録2をご覧ください。

- C/D：チェックデジット
- スタート/ストップ：スタートキャラクタ/ストップキャラクタ
- は「読取る」、「転送する」、「計算する」を、×は「読取らない」、「転送しない」、「計算しない」を示します。

- \*1 この設定は変更できません。
- \*2 この設定はC/D計算が「○：計算する」の時のみ有効です。
- \*3 1桁のバーコードは読取りできません。
- \*4 2桁のバーコードは読取りできません。

## 3-1-2 読取り設定

表 3-2

設定項目	初期設定
読取り桁数	桁数設定しない
読取り方式	複数読み
トリガスイッチ設定	使用する
トリガスイッチ機能	オートオフモード
読取り時間	2秒
2度読み防止タイマー	0.5秒
多段読み	使用しない
ブザー音量	音量1 (最大)
ブザー音	音2

## 3-1-3 データ出力設定

表 3-3

設定項目	初期設定
出力後の付加データ	「Enter」キー
コモンプリフィックス付加	無し
コモンサフィックス付加	無し
送信速度	速度1 (最速)

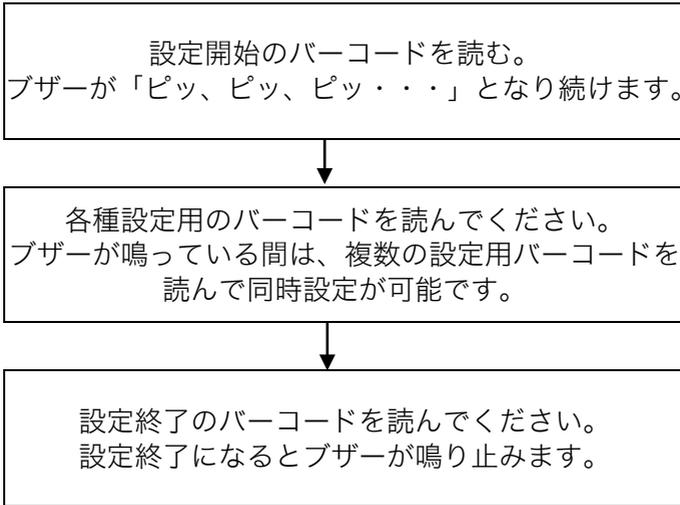
## 3-2 設定の詳細

---

ここでは「3-1 設定項目および初期設定」の各項目の詳細と設定変更の方法を説明します。

設定項目	参照ページ
設定の初期化	P. 3-6
読取りコード	
読取りコードの設定	P. 3-7
桁数転送の設定	P. 3-10
C/D (チェックデジット) 計算の設定	P. 3-12
C/D (チェックデジット) 転送の設定	P. 3-13
スタート/ストップキャラクタ転送の設定	P. 3-15
コード別プリフィックス付加の設定	P. 3-16
コード別サフィックス付加の設定	P. 3-19
読取り設定	
読取り桁数の設定	P. 3-22
読取り方式の設定	P. 3-24
トリガスイッチ設定	P. 3-25
トリガスイッチ機能の設定	P. 3-26
読取り時間の設定	P. 3-27
2度読み防止タイマー時間の設定	P. 3-29
多段読みの設定	P. 3-31
ブザー音量の設定	P. 3-33
ブザー音の設定	P. 3-34
データ出力設定	
出力後の付加データ設定	P. 3-35
コモンプリフィックス付加の設定	P. 3-37
コモンサフィックス付加の設定	P. 3-38
送信速度の設定	P. 3-40

この章で示す設定は、いずれも以下の手順で行ってください。



多数ある設定用バーコードの中から確実に1つだけを読ませたい場合、設定開始バーコードを読んだ後にトリガスイッチをダブルクリックしてください。断続ブザー音が変わり読取り方法が変更されます。変更後は、読取り口をバーコードにあててからトリガスイッチを押して読取りを行います。再度トリガスイッチをダブルクリックすると通常の読取りに戻ります。必要に応じてご使用ください。

## 第3章 各種条件の設定

### 3-2-1 設定の初期化

出荷時には、あらかじめ「3-1 設定項目および初期設定」に示される設定になっています。

各種設定を「初期設定」状態に戻したい場合は下のバーコードを上から順に読取ってください。

表 3-4

初期状態に戻します	
設定開始	 Z 7
初期設定	 U 1
USB	 H B
設定終了	 Z 7

## 3-2-2 読取りコード

### 3-2-2-1 読取りコードの設定

表3-5では、設定したコード以外は読めなくなります。複数のコードを設定する場合は、まず表3-5で1種類のみ設定し、残りは表3-6で読みたいコードを追加設定してください。

表 3-5

各コードのみ設定します（設定したコード以外は読めません） ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
UPCのみ読取り	 J 1
JAN/EANのみ読取り	 J 4
CODE-39のみ読取り	 A 2
NW7のみ読取り	 A 3
インターリブド2of5のみ読取り	 J 8
インダストリアル2of5の読取り	 J 7
CODE-93のみ読取り	 A 5

### 第3章 各種条件の設定

CODE-128のみ読取り	
設定終了	

表3-6では、読取りを行いたいコードを追加していきます。

表 3-6

各コードごとに読取り可能にします ★印は初期設定	
設定開始	
★UPC の読取り可	
★JAN/EAN の読取り可	
★CODE-39の読取り可	
★NW7の読取り可	
★インターリブド2of5の読取り可	
★インダストリアル2of5の 読取り可	

CODE-93の読取り可	
CODE-128の読取り可	
設定終了	

## ●例

「CODE-39」と「NW-7」の2種類だけを読取り可能にしたい場合。表3-5で「CODE-39のみ読取り」を設定します。次に表3-6で「NW-7の読取り可」を追加設定します。この様な方法でこの2種類のコードだけ読取り可能に設定できます。

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-2-2 桁数転送の設定

読取りデータの直前に桁数をつけて転送できます。

コモン プリフィックス (最大8桁)	コード別 プリフィックス (最大4桁)	桁数 (2桁)	読取りデータ	コード別 サフィックス (最大4桁)	コモン サフィックス (最大8桁)
--------------------------	---------------------------	------------	--------	--------------------------	-------------------------

表 3-7

各コードごとに桁数を転送する設定にします	
設定開始	
CODE-39桁数転送する	
NW-7桁数転送する	
インターリブド2of5桁数転送する	
インダストリアル2of5 桁数転送する	
CODE-93桁数転送する	
CODE-128桁数転送する	
設定終了	

表 3-8

各コードごとに桁数を転送無しの設定にします ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
CODE-39桁数転送無し	 2 I
NW-7桁数転送無し	 2 J
インターリブド2of5桁数転送無し	 2 L
インダストリアル2of5 桁数転送無し	 2 K
CODE-93桁数転送無し	 2 M
CODE-128桁数転送無し	 2 N
★全てのコードの桁数転送無し	 2 Z
設定終了	 Z 7

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-2-3 C/D (チェックデジット) 計算の設定

表 3-9

各コードごとに C/D の計算をしない設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
★CODE-39の C/D 計算しない	
★インターリブド2of5とインダストリアル2of5の C/D 計算しない	
設定終了	

表 3-10

各コードごとに C/D の計算をする設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
CODE-39の C/D 計算する	
インターリブド2of5とインダストリアル2of5の C/D 計算する	
設定終了	

## 3-2-2-4 C/D (チェックデジット) 転送の設定

表 3-11

各コードごとに C/D を転送しない設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
UPC-A の C/D 転送しない	
★UPC-E の C/D 転送しない	
JAN/EAN の C/D 転送しない	
CODE-39の C/D 転送しない (C/D 計算する時のみ有効)	
インターリブド2of5とインダストリアル2of5の C/D 転送しない (C/D 計算する時のみ有効)	
設定終了	

**注意**

表3-11での「有効」とは設定変更可能という意味です。

### 第3章 各種条件の設定

表 3-12

各コードごとに C/D を転送する設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
★UPC-A の C/D 転送する	
UPC-E の C/D 転送する	
★JAN/EAN の C/D 転送する	
★CODE-39の C/D 転送する (C/D 計算する時のみ有効)	
★インターリブド2of5とインダ ストリアル2of5の C/D 転送する (C/D 計算する時のみ有効)	
設定終了	

**注意**

表3-12での「有効」とは設定変更可能という意味です。

## 3-2-2-5 スタート/ストップキャラクタ転送の設定

表 3-13

各コードごとにスタート/ストップキャラクタ 転送しない設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
CODE-39のスタート/ ストップキャラクタを転送しない	
NW-7のスタート/ ストップキャラクタを転送しない	
設定終了	

表 3-14

各コードごとにスタート/ストップキャラクタ 転送する設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
★CODE-39のスタート/ ストップキャラクタを転送する	
★NW-7のスタート/ ストップキャラクタを転送する	
設定終了	

NW-7：スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd を転送します。

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-2-6 コード別プリフィックスの付加の設定

読取りコードごとに、データの前にプリフィックスを付加することができます。  
コード別プリフィックスは最大4桁まで設定できます。

コモン プリフィックス (最大8桁)	コード別 プリフィックス (最大4桁)	桁数 (2桁)	読取りデータ	コード別 サフィックス (最大4桁)	コモン サフィックス (最大8桁)
--------------------------	---------------------------	------------	--------	--------------------------	-------------------------

#### ●コード別プリフィックスを設定する方法

- ① 表3-16の「コード別プリフィックスをクリアする」を読むと、今まで登録されていたすべてのコード別プリフィックスがクリアされます。
- ② 表3-15からプリフィックスを付加したいコードを読んだ後、「表3-33 プリフィックス/サフィックス付加データ表」から設定したいデータを出力したい順番で読みます。
- ③ 設定は4桁まで登録可能で、それを超えた場合は無視されます。「設定終了」を読んだ時に設定は終了します。

表 3-15

各コードごとにプリフィックスを付加する設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
UPC-A のプリフィックス	
UPC-E のプリフィックス	
JAN/EAN-13のプリフィックス	

JAN/EAN-8のプリフィックス	
CODE-39のプリフィックス	
NW-7のプリフィックス	
インターリブド2of5の プリフィックス	
インダストリアル2of5の プリフィックス	
CODE-93のプリフィックス	
CODE-128のプリフィックス	
設定終了	

### 第3章 各種条件の設定

表 3-16

すべてのコード別プリフィックスをクリアします。	
設定開始	
★コード別プリフィックスを クリアする	
設定終了	

## 3-2-2-7 コード別サフィックスの付加の設定

読取りコードごとに、データの後にサフィックスを付加することができます。  
コード別サフィックスは最大4桁まで設定できます。

コモン プリフィックス (最大8桁)	コード別 プリフィックス (最大4桁)	桁数 (2桁)	読取りデータ	コード別 サフィックス (最大4桁)	コモン サフィックス (最大8桁)
--------------------------	---------------------------	------------	--------	--------------------------	-------------------------

## ●コード別サフィックスを設定する方法

- ① 表3-18の「コード別サフィックスをクリアする」を読むと、今まで登録されていたすべてのコード別サフィックスがクリアされます。
- ② 表3-17からサフィックスを付加したいコードを読んだ後、「表3-33 プリフィックス/サフィックス付加データ表」から設定したいデータを出力したい順番で読みます。
- ③ 設定は4桁まで登録可能で、それを超えた場合は無視されます。「設定終了」を読んだ時に設定は終了します。

表 3-17

各コードごとにサフィックスを付加する設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
UPC-A のサフィックス	
UPC-E のサフィックス	
JAN/EAN-13のサフィックス	

### 第3章 各種条件の設定

JAN/EAN-8のサフィックス	 <p style="text-align: center;">N 9</p>
CODE-39のサフィックス	 <p style="text-align: center;">0 4</p>
NW-7のサフィックス	 <p style="text-align: center;">0 5</p>
インターリブド2of5のサフィックス	 <p style="text-align: center;">0 7</p>
インダストリアル2of5のサフィックス	 <p style="text-align: center;">0 6</p>
CODE-93のサフィックス	 <p style="text-align: center;">0 8</p>
CODE-128のサフィックス	 <p style="text-align: center;">0 9</p>
設定終了	 <p style="text-align: center;">Z 7</p>

表 3-18

すべてのコード別サフィックスをクリアします。	
設定開始	
★コード別サフィックスを クリアする	
設定終了	

## 第3章 各種条件の設定

### 3-2-3 読取り設定

#### 3-2-3-1 読取り桁数の設定

コードを指定して読取り桁数を固定することができます。

#### ●桁数を設定する方法

- ① 表3-19の「桁数を設定する」または「桁数設定の追加」を読んだ後、設定したいコード/桁数のバーコードを読取ると、そのコードについて読取り桁数が固定されます。
- ② ①で「桁数を設定する」を読んだ場合は、今まで登録されていた桁数設定はクリアされます。「桁数設定の追加」を読んだ場合は、今まで登録されていた桁数設定に追加することができます。
- ③ 設定は8種類まで登録可能で、これを超えるとバーコードを読取らなくなります。「設定終了」を読んで終了してください。

#### 注意

一度「桁数を設定しない」設定にすると、桁数設定はすべてクリアされます。UPC、JAN/EAN、定期刊行物コードは桁数の設定ができません。

表 3-19

読取り桁数を設定します ★印は初期設定	
設定開始	
★桁数を設定しない	
桁数を設定する	

桁数設定の追加	 H 6
設定終了	 Z 7

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-3-2 読取り方式の設定

- 単発読み  
トリガスイッチを使用することを前提とした方式で、トリガスイッチを押してバーコードを読むとその時点で読取り口の照明が消灯します。
- 複数読み  
読取り口の照明が点灯中であれば、続けてバーコードを読むことができます。ただし、同じバーコードの場合は、指定した時間読取り口をバーコードから離して2度読み防止を解除する必要があります。

表 3-20

読取り方式を設定します ★印は初期設定	
設定開始	
単発読み	
★複数読み	
設定終了	

## 3-2-3-3 トリガスイッチの設定

トリガスイッチを使用するか、しないかを設定することができます。  
 トリガスイッチを使用しない場合、読取り口は点灯したままとなり複数読みを行います。

表 3-21

トリガスイッチ使用の設定をします ★印は初期設定	
設定開始	
★トリガスイッチを使用する	
トリガスイッチを使用しない	
設定終了	

**注意**

トリガスイッチを使用する設定でないと、読取り方式の「単発読み」は設定できません。

トリガスイッチを使用しない設定にした場合、読取り方式の設定は自動的に複数読みに変更されます。

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-3-4 トリガスイッチ機能の設定

トリガスイッチを使用する場合、スイッチの機能を設定することができます。  
どちらの設定の場合も読取り方式と読取り時間の設定は有効です。

- オートオフモード  
トリガスイッチを押すと、読取り口の照明を点灯し読取りを開始します。
- オルタネートモード  
トリガスイッチを押す毎に、読取り口の照明の点灯、消灯を繰り返します。

表 3-22

トリガスイッチ機能の設定をします ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
★オートオフモード	 S D
オルタネートモード	 S J
設定終了	 Z 7

## 3-2-3-5 読取り時間の設定

読取りを開始してから読取り口の照明が消灯するまでの時間を設定することができます。消灯するまでにバーコードを読取ると、経過時間を無効にしその時点から新たに時間を計測します。

「トリガスイッチ押下中のみ点灯」の場合は、トリガスイッチ機能の設定に関わらず、トリガスイッチを押している間は読取り口の照明が点灯し続けスイッチを離すと消灯します。

なお、どの設定の場合も読取り方式の設定は有効です。

表 3-23

読取り時間を設定します ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
トリガスイッチ押下中のみ点灯	 Y 0
1秒	 Y 1
★2秒	 Y 2
4秒	 Y 4
6秒	 Y 5
10秒	 Y 7

### 第3章 各種条件の設定

無限	
設定終了	

## 3-2-3-6 2度読み防止タイマー時間の設定

複数読みの場合、読取り口の照明が点灯中は続けてバーコードを読めますが、同じバーコードの場合、一定の時間読取り口をバーコードから離して2度読み防止を解除する必要があります。  
この時間を設定することができます。

表 3-24

2度読み防止タイマー時間を設定します ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
無し	 S R
0.05秒	 S S
0.1秒	 S T
0.2秒	 S U
0.3秒	 S V
0.4秒	 S W

### 第 3 章 各種条件の設定

★0.5秒	 <p>A barcode with two labels, 'S' and 'X', positioned below the bars.</p>
0.6秒	 <p>A barcode with two labels, 'S' and 'Y', positioned below the bars.</p>
設定終了	 <p>A barcode with two labels, 'Z' and '7', positioned below the bars.</p>

## 3-2-3-7 多段読みの設定

設定された段数のバーコード読取りを終了した時点で、一括でデータを出力することができます。

各段の読取りデータにはコード別のプリフィックス、桁数、サフィックスを付加することが可能です。これをセットとして1段目から指定段数を接続し、コモンプリフィックス、サフィックスを付加して出力します。各段の間はデータの区切り記号としてカンマ「,」を挿入します。(プリフィックス/サフィックス/桁数の付加の有無はそれぞれの設定によります。)

コモン プリフィックス	1段目データ プリフィックス	1段目データ 桁数	1段目 読取りデータ	1段目データ サフィックス	区切り 「,」	n段目 セット	コモン サフィックス
セッ							

接続できるのは2~5段まで、読取りデータの合計が120バイトまでです。それを超えるデータを読んだ時は全てのデータが破棄されエラーブザーが鳴ります。また、各段のバーコードを決まった時間内（最長で2秒以内、読取り時間の設定が1秒の場合には1秒以内）に読取らないと、それまでに読んだすべてのデータが破棄されます。その場合初めから読み直してください。

表 3-25

多段読みを設定します ★印は初期設定	
設定開始	 z 7
★使用しない	 0 c
2段	 0 d

### 第 3 章 各種条件の設定

3段	 0 E
4段	 0 F
5段	 0 G
設定終了	 Z 7

## 3-2-3-8 ブザー音量的設定

表 3-26

ブザー音量を設定します ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
★音量1 (大)	 T 0
音量2	 T 1
音量3	 T 2
音量4 (小)	 T 3
設定終了	 Z 7

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-2-9 ブザー音の設定

表 3-27

ブザー音を設定します ★印は初期設定	
設定開始	 z 7
音 1	 w 1
★音 2	 w 2
音 3	 w 3
設定終了	 z 7

### 3-2-4 データ出力設定

#### 3-2-4-1 出力後の付加データ設定

出力データの末尾に「Enter」「Tab」「→」のキーデータを付加することができます。付加データは最大8桁まで設定することができます。  
この付加データ設定は「3-2-4-3 コモンサフィックス付加の設定」と同等で、設定した付加データはコモンサフィックスとして扱われます。

#### ●出力データの末尾に付加するキーデータを設定します

表3-28の「Enter」「Tab」「→」を付加するバーコードを読むと、出力データの末尾にそれぞれのキーデータが付加されます。この設定では、今まで登録されていた付加キーデータ（コモンサフィックスの登録データと同様）の後に追加登録することが可能です。

表 3-28

出力データの末尾に付加するキーデータを設定します ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
★「Enter」を付加する	 W R
「Tab」を付加する	 W T
「→」を付加する	 W A
設定終了	 Z 7

### 第3章 各種条件の設定

#### ●各キーデータの付加を取り消す設定を行います。

それぞれ独立して付加設定をクリアすることが可能で、該当するデータは1桁ずつクリアされます。コモンサフィックスの設定で付加されたこれらのキーデータもクリアされます。

また、コモンサフィックスをクリアすることで、すべての付加設定を一括してクリアすることも可能です。

表 3-29

出力データの末尾に付加するキーデータを設定します ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
「Enter」を付加しない	 X R
★ 「Tab」を付加しない	 X T
★ 「→」を付加しない	 X A
設定終了	 Z 7

#### 注意

ノート PC の「→」キーは機種によっては「END」等のキーと共有しているものがあり、入力モードによってはそれらのキーとして出力される場合があります。

## 3-2-4-2 コモンプリフィックス付加の設定

読取りコードに関わらず共通で、出力データの先頭にプリフィックスを付加することができます。

コモンプリフィックスは最大8桁まで設定できます。

コモン プリフィックス (最大8桁)	コード別 プリフィックス (最大4桁)	桁数 (2桁)	読取りデータ	コード別 サフィックス (最大4桁)	コモン サフィックス (最大8桁)
--------------------------	---------------------------	------------	--------	--------------------------	-------------------------

## ●コモンプリフィックスを設定する方法

表3-30の「コモンプリフィックスをクリアする」または「コモンプリフィックスを設定する」を読むと、今まで登録されていたコモンプリフィックスがクリアされます。

「コモンプリフィックスを設定する」を読んだ場合は、続けて「表3-33 プリフィックス/サフィックス付加データ表」から出力したい順番にバーコードを読取り、新たにコモンプリフィックスを登録することができます。

表 3-30

出力データの先頭に付加するプリフィックスを設定します ★印は初期設定	
設定開始	
コモンプリフィックスを設定する	
★コモンプリフィックスをクリアする	
設定終了	

## 第3章 各種条件の設定

### 3-2-4-3 コモンサフィックス付加の設定

読取りコードに関わらず共通で、出力データの末尾にサフィックスを付加することができます。コモンサフィックスは最大8桁まで設定できます。コモンサフィックスには「3-2-4-1 出力後の付加データ設定」による「Enter」「Tab」「→」の設定が反映されます。このためコモンサフィックスは初期設定が「Enter」となっています。

コモン プリフィックス (最大8桁)	コード別 プリフィックス (最大4桁)	桁数 (2桁)	読取りデータ	コード別 サフィックス (最大4桁)	コモン サフィックス (最大8桁)
--------------------------	---------------------------	------------	--------	--------------------------	-------------------------

#### ●コモンサフィックスを設定する方法

表3-31の「コモンサフィックスをクリアする」または「コモンサフィックスを設定する」を読むと、今まで登録されていたコモンサフィックスがクリアされます（これにより「3-2-4-1 出力後の付加データ設定」の設定もクリアされます）。

「コモンサフィックスを設定する」を読んだ場合は、続けて「表3-33 プリフィックス/サフィックス付加データ表」から出力したい順番にバーコードを読取り、新たにコモンサフィックスを登録することができます。

表 3-31

出力データの末尾に付加するサフィックスを設定します	
設定開始	 A barcode with two sections. The first section has a vertical bar of width 1, and the second section has a vertical bar of width 7. Below the first section is the letter 'Z' and below the second section is the number '7'.
コモンサフィックスを設定する	 A barcode with two sections. The first section has a vertical bar of width 0, and the second section has a vertical bar of width A. Below the first section is the number '0' and below the second section is the letter 'A'.
コモンサフィックスをクリアする	 A barcode with two sections. The first section has a vertical bar of width 0, and the second section has a vertical bar of width Z. Below the first section is the number '0' and below the second section is the letter 'Z'.
設定終了	 A barcode with two sections. The first section has a vertical bar of width Z, and the second section has a vertical bar of width 7. Below the first section is the letter 'Z' and below the second section is the number '7'.

### 第3章 各種条件の設定

#### 3-2-4-4 送信速度の設定

アプリケーションソフトによっては、バーコードを読んだ時に出力データが欠けることがあります。その場合は送信速度を遅くしてください。

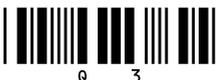
表 3-32

送信速度を設定します ★印は初期設定	
設定開始	 Z 7
★送信速度1 (速い)	 K 0
送信速度2	 K 1
送信速度3	 K 2
送信速度4 (遅い)	 K 3
設定終了	 Z 7

## 3-3 プリフィックス/サフィックス付加データ表

プリフィックスおよびサフィックスで付加するキーデータです。

表 3-33

付加可能なキーデータ一覧	
0	 q 0
1	 q 1
2	 q 2
3	 q 3
4	 q 4
5	 q 5
6	 q 6
7	 q 7
8	 q 8

### 第3章 各種条件の設定

付加可能なキーデータ一覧	
9	 A barcode with the number '9' printed below it.
A	 A barcode with the letter 'A' printed below it.
B	 A barcode with the letter 'B' printed below it.
C	 A barcode with the letter 'C' printed below it.
D	 A barcode with the letter 'D' printed below it.
E	 A barcode with the letter 'E' printed below it.
F	 A barcode with the letter 'F' printed below it.
G	 A barcode with the letter 'G' printed below it.
H	 A barcode with the letter 'H' printed below it.
I	 A barcode with the letter 'I' printed below it.
J	 A barcode with the letter 'J' printed below it.

3-3 プリフィックス/サフィックス付加データ表

付加可能なキーデータ一覧	
K	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'K'.
L	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'L'.
M	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'M'.
N	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'N'.
O	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character '0'.
P	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'P'.
Q	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'Q'.
R	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'R'.
S	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'S'.
T	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'T'.
U	 A barcode with three distinct sections. The first section is a standard barcode, the second is a shorter barcode, and the third is a longer barcode. Below the first section is the character '0', and below the second section is the character 'U'.

### 第3章 各種条件の設定

付加可能なキーデータ一覧	
V	 0 V
W	 0 W
X	 0 X
Y	 0 Y
Z	 0 Z
Esc	 1 E
Tab	 1 F
Enter	 1 G
Backspace	 1 H
→	 1 I
←	 1 J

### 3-3 プリフィックス/サフィックス付加データ表

付加可能なキーデータ一覧	
↑	
↓	
Enter (Tenkey)	
F1	
F2	
F3	
F4	
F5	
F6	
F7	
F8	

### 第3章 各種条件の設定

付加可能なキーデータ一覧	
F9	
F10	
F11	
F12	

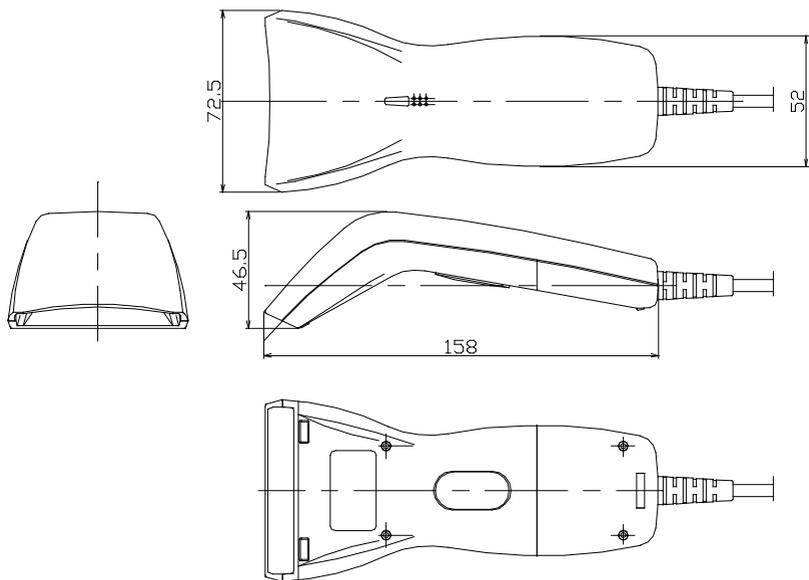
## 第4章 仕様

---

## 4-1 外形寸法

---

### 4-1-1 本体



## 4-2 読取り性能

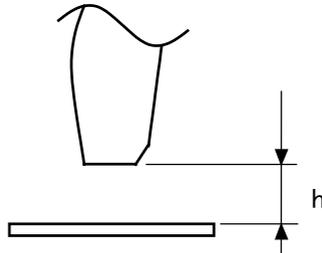
---

読取りバーコードの条件は各項で指定がない限り次の通りとします

バーコード： JAN-13 (倍率0.8、ナローバー 0.26mm、PCS 0.45)  
バーコードの位置は読取り口のほぼ中央

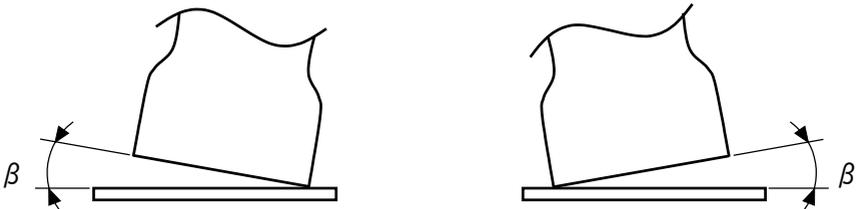
### 4-2-1 非接触距離

バーコード面から読取り口までの距離が0mm～15mm の範囲で読取り可能です。



### 4-2-2 ピッチ角度

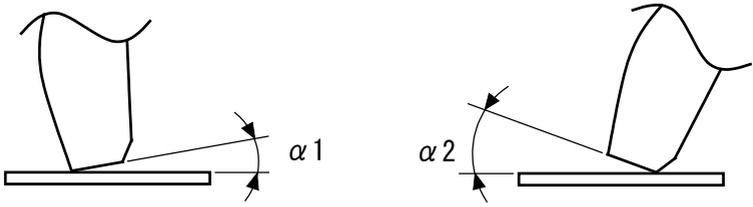
左右の傾斜角度 $\beta$ が $0^{\circ}$ ～ $10^{\circ}$ まで読取り可能です。



## 第4章 仕様

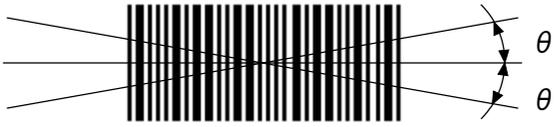
### 4-2-3 スキュー角度

前後傾斜角度が、 $\alpha 1 = 0^\circ \sim 10^\circ$ 、 $\alpha 2 = 0^\circ \sim 30^\circ$ まで読取り可能です。



### 4-2-4 チルト角度

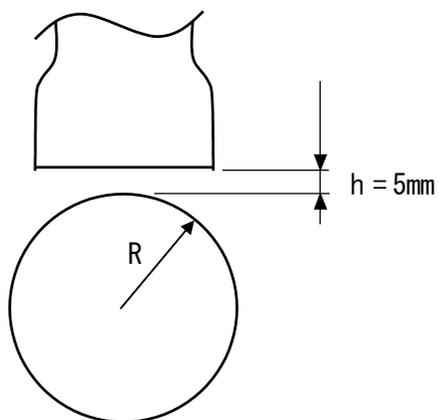
回転の角度 $\theta$ が $\pm 10^\circ$ まで読取り可能です。



## 4-2-5 湾曲

JAN-13の場合  $R > 40\text{mm}$  で読取り可能です。

JAN-8の場合  $R > 25\text{mm}$  で読取り可能です。



### 4-3 光学仕様

項目	特性
発光素子	赤色 LED
受光素子	CCD リニアイメージセンサー
発光波長	630nm
スキャンスピード	200スキャン/秒

### 4-4 その他仕様

スキャナー一部仕様	読取りコード		JAN/EAN、UPC、NW-7、CODE-39、インターリッド 2of5、インダストリアル2of5、CODE-93、CODE-128、定期刊行物コード（雑誌）	
	読取り幅		65mm	
	最小分解能		0.127mm (PCS 0.9)	
	走査速度		200スキャン/秒	
	PCS 値		0.45以上	
LED	光源		赤色 LED (630nm)	
	正常読取り時	緑		
	エラー	赤		
ブザー	バーコード読取り時、設定時に鳴動			
寸法	158mm (D) × 72.5mm (W) × 46.5mm (H)			
重量	120g MAX (ケーブル除く)			
ケーブル長	1.5m			
落下衝撃	1.5m (コンクリート) 各方向3回			
電氣的仕様	入力電源圧		DC5.0V	
	消費電流	読取り時	80mA (MAX)	
		準備時	35mA (MAX)	
インターフェース		USB		
環境	使用周囲照度	白熱灯	2000ルクス	
		蛍光灯	3000ルクス	
	使用温度		0~40℃	
	使用湿度		20~80%RH (結露無きこと)	

## 第5章 付録

---

# 付録1 サンプルバーコード

---

NW-7



CODE39



CODE39 (C/D 付き)



JAN13



JAN8



UPC-E



インターリブド2of5



インターリブド2of5 (C/D 付き)



CODE128



## 付録2 定期刊行物コード（雑誌）に関する設定

本項では、定期刊行物コード（雑誌）に関する設定について説明します。

### ●定期刊行物コード（雑誌）とは

雑誌用バーコードのコード体系が、2004年6月より従来の「共通雑誌コード」から「定期刊行物コード（雑誌）」へ変更されました。この定期刊行物コードは、先頭3桁が「491」固定の13桁 JAN コードと5桁のアドオンコードで構成されます。

### 付録 2-1 定期刊行物コードの読取り設定

- 定期刊行物コード読取り可  
「491」で始まる JAN-13は5桁のアドオンコード付きのみを読取ります。
- 定期刊行物コード読取り禁止  
「491」で始まる JAN-13は5桁のアドオンコード付きでもアドオンコード無しとして読取り、JAN-13として出力します。

付録表 2-1

定期刊行物コードの読取りを設定します ★印は初期設定	
設定開始	
定期刊行物コード読取り可	
★定期刊行物コード読取り禁止	
設定終了	

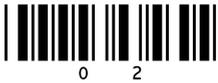
## 付録2-2 定期刊行物コードのC/D（チェックデジット）転送設定

定期刊行物コードのC/D転送の設定は「3-2-2-4 C/D（チェックデジット）転送の設定」の「JAN/EAN」にて設定を行います。

## 付録2-3 定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックス付加の設定

定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックスの付加について設定します。設定方法については「3-2-2-6 コード別プリフィックスの付加の設定」および「3-2-2-7 コード別サフィックスの付加の設定」と同様です。付録表2-2の「定期刊行物コードのプリフィックス」、「定期刊行物コードのサフィックス」のバーコードをコード指定に使用して設定を行ってください。

付録表 2-2

定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックスを設定します ★印は初期設定	
設定開始	
定期刊行物コードの プリフィックス	
定期刊行物コードの サフィックス	
設定終了	

この設定は定期刊行物コード読取り時に有効となります。

定期刊行物コード読取り禁止により JAN-13として扱われた場合は「3-2-2-6 コード別プリフィックスの付加の設定」および「3-2-2-7 コード別サフィックスの付加の設定」で「JAN/EAN-13」に設定した内容が付加されます。



## 第6章 索引

---

## 第6章 索引

### 2

2度読み防止タイマー ..... P.3-29

### C

C/D.....P.3-2

### あ

オートオフモード ..... P.3-26

オルタネートモード ..... P.3-26

### か

キーデータ ..... P.3-35, 3-41

桁数転送 ..... P.3-10

コード別サフィックス ..... P.3-19

コード別プリフィックス ..... P.3-16

コモンサフィックス ..... P.3-35, 3-38

コモンプリフィックス ..... P.3-37

### さ

出力後の付加データ ..... P.3-35, 3-38

初期化 ..... P.3-6

初期設定 ..... P.3-2, 3-6

スキュー角度 ..... P.4-4

スタート/ストップキャラクタ  
..... P.3-2, 3-15

設定用バーコード ..... P.3-5

送信速度 ..... P.3-40

### た

対応 OS.....P.2-2

多段読み ..... P.3-31

単発読み ..... P.3-24

チェックデジット ..... P.3-2

チルト角度 ..... P.4-4

データ出力設定 ..... P.3-3, 3-35

添付品 ..... P.1-2

トリガスイッチ ..... P.1-3, 3-25

トリガスイッチ機能 ..... P.3-26

トリガスイッチ設定 ..... P.3-25

### は

非接触距離 ..... P.4-3

ピッチ角度 ..... P.4-3

表示 LED ..... P.1-3

複数読み ..... P.3-24

ブザー音 ..... P.3-34

ブザー音量 ..... P.3-33

本体ケーブル ..... P.1-3

### や

読取り口 ..... P.1-3

読取り桁数 ..... P.3-22

読取りコード ..... P.3-2, 3-7

読取り時間 ..... P.3-27

読取り設定 ..... P.3-3, 3-22

読取り方式 ..... P.3-24

### わ

湾曲 ..... P.4-5

FAXによるご質問または修理のご依頼の際は、下記用紙をコピーして各項目にご記入の上ご利用ください。

FAX お問い合わせ表 /  修理依頼票 (どちらでご使用か□に記してください)

御社名 \_\_\_\_\_ 部署 \_\_\_\_\_  
御氏名 \_\_\_\_\_ TEL (        ) \_\_\_\_\_  
E-Mail \_\_\_\_\_ FAX (        ) \_\_\_\_\_  
御住所 〒 \_\_\_\_\_

お買い上げ店名 \_\_\_\_\_

【製品名】 USB タッチリーダー

【型番】 Touch7-USB

【SER No】 \_\_\_\_\_ (本体に貼付の銘板に記載されています)

■ 情報提供にご協力ください ■

ご使用の PC	
ご使用の OS およびバージョン	
ご使用の業務/場所/環境	

■ 質問内容・不具合症状の記入欄 (できるだけ詳しくご記入ください) ■

修理の際は本紙にご記入のうえ修理品と一緒に買い上げ店にお渡しください。

保証書のお買い上げ日から1ヶ年 (ただし、最長で出荷日より1年3ヶ月) 以内の場合、保証書のご提示により無償保証とさせていただきます。ただし、無償保証期間内であっても有償となる場合もございますので、詳しくは保証書をご覧ください。

弊社製品の保守期間は、販売終了後5年間です。ご使用中の製品の販売終了に関する情報は、弊社ホームページ (<http://www.welcat.co.jp/>) にてご確認ください。

このマニュアルの著作権は株式会社ウェルキャットにあります。

このマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

USB タッチリーダー Touch7-USB  
ユーザーズマニュアル

---

2010年 5月 第7版 発行

株式会社ウェルキャット

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-8 品川シーサイドイーストタワー6階

TEL : 03-5463-8580 FAX : 03-5463-8586

Homepage <http://www.welcat.co.jp/>

E-mail [info@welcat.co.jp](mailto:info@welcat.co.jp)

Copyright©2010 Welcat Inc.

---

※落丁、乱丁はお取り替え致します。

M07TOUCH7USB